

ふっさ 市議会だより



No.218 令和2年1月25日 発行/福生市議会
〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表) ☎042(551)1523(直通)



▲福生市制施行50周年記念 福生市消防団出初式 (令和2年1月12日)

令和元年
第4回定例会
12月3日～20日

台風第19号の災害復旧に係る補正 予算、1億1495万6千円を可決

スマートフォンやタブレット端末からも
議会インターネット中継が見られるようになりました!



パソコンのほか、スマートフォンやタブレット端末でも、本会議のインターネット中継を見られるようになりました。「忙しくてなかなか傍聴に行けない」「外出先から議会中継を見たい」という方にも、いつでもご利用いただけます。



福生市議会
インターネット中継

- 利用方法:福生市ホームページ⇒「福生市議会」よりアクセス
- 配信方法:ライブ中継・録画中継

令和元年第4回定例会
令和元年第4回定例会は、12月3日から20日まで会期18日間で開催されました。
17名の議員による一般質問が行われ、専決処分の報告1件、条例の制定及び改廃、一般会計補正予算など市長提出議案22件、議員提出議案1件が審議されました。
また、継続審査となっていた陳情1件は採択となりました。

20日	第4回定例会5日目 全員協議会 議会運営委員会
17日	議会運営委員会 議会
13日	横田基地対策特別委員会
12日	総務文教委員会
11日	市民厚生委員会
10日	建設環境委員会
6日	第4回定例会4日目 全員協議会
5日	第4回定例会3日目 議会運営委員会
4日	第4回定例会2日目 議会運営委員会
3日	第4回定例会1日目 議会運営委員会
▼12月	会期18日間

◆会議の 開催状況と 審議日程◆

● 主な内容 ●	
◆一般質問(要旨) ……	2～5面
◆議案の審議結果 ……	6面
◆可決等された案件 ……	6面
◆行政視察報告 ……	7面
◆委員会の審査 ……	7～8面
◆特別委員会活動 ……	8面

一般質問（要旨）

「市政のここを問う」

今定例会では、17名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。会議録は2月中旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市ホームページに掲載しています。



福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)

台風第19号における防災行政無線について

質問 防災行政無線が聞こえなかった、エコーになって内容がわからなかった等の意見が出ているが、現状と対応を伺う。

市長 放送内容に関する問い合わせは、市にも多数寄せられた。50カ所のスピーカーを使って最大音量で放送し、広報車でも同様の周知を行ったが、それでも激しい風雨で聞き取りにくいと思われる。今後は、防

災行政無線音声確認ダイヤルやふっさ情報メールなどの代替手段の事前周知のほか、戸別受信機の貸し出しなどを考えている。

台風第19号における避難所の対応について

質問 避難所運営マニュアルの活用、運営に当たった職員の対応、災害対策本部との連携、受け入れ可能人数の適切性について伺う。

市長 避難所運営マニュアルに記載する開設マニュアルや避難者カードを使用して対応した。また、職員が物資の提供などを行い、保健師が避難所を巡回するなど、おおむねよい評価をいただいた。連携は、災対本部と行っただけでなく、避難所間の情報共有も図った。また、避難所は段階的に開設し、全ての避難者を受け入れることができた。

正和会
杉山 行男 議員



▲台風第19号の避難所の様子(第二小学校)

通学道路の改良工事の進捗状況等について

質問 福生第三小学校北側交差点付近の道路改善計画の進捗状況と、同交差点に接続する牛浜北通りの改修工事の現況について伺う。

市長 牛浜北通りの舗装補修工事は、令和元年度から3年度に、3工区に分けて行う。当該交差点付近は令和3年度の工事を予定している。

都市建設部長 交差点西側の市道第1042号線のカーブ部分は、見通し

が悪いので、本交差点改良工事に合わせて、地権者に協力をいただき、現道路を拡幅して、視認性の改善及び安全性の向上を図っていく。

市が管理するエレベーター、エスカレーターの保守契約について

質問 平成30年度は設置メーカーの保守会社が約2,500万円で保守を行っているが、保守専門業者に委託すれば約4割、1,000万円程度コス

トカットできるのではないかと。

総務部長 現在、安全性を重視して、全て設置メーカーの保守会社が保守を行っている。全てのメーカーのメンテナンスを行う独立系の保守業者に委託すれば経費は節減できるが、特にエレベーターは人命にかかわる機械であり、安全性に責任を持つ市の立場としては、現在の契約方法を継続していきたい。

自民党福生
町田 成司 議員



▲改良工事を予定している第三小学校北側交差点付近

指定管理者制度における事業者の公募、選定について

質問 公募・選定は、大規模な事業者、団体が優位で、小規模な長所を持つ団体は不利なのではないかと懸念されるが、所見を伺う。

市長 指定管理者の公募に当たっては、募集要項で応募者の資格を定め、サービス向上や経費縮減が図られるか、事業計画書に沿った管理を安定して行う人員、資産等を有するか、または確保できる見込みがある

かなど条例に定めた選定基準により審査している。団体の規模の大小に限らず、適正な管理運営が図れるかという視点で選定している。

令和2年度からの民間委託化後の学校給食センターの運用について

質問 学校給食センター運営審議会の今後の役割、福生らしさを活かした献立、成人式での「なつかしの給食コーナー」の継続について伺う。

教育部長 学校給食センター運営審議会は、年に1回程度、必要に応じての開催になると考えている。福生らしさを活かした献立については、市の栄養士による献立の立案、食材の選定等、調理以外の工程は現行と変わらない。今後も福生らしい献立を継続、発展させていく。成人式での「なつかしの給食コーナー」は、今後も継続して実施していきたい。

正和会
武藤 政義 議員



▲学校給食センターの配送風景

認知症予防に向けた脳と身体機能を活性させる運動について

質問 計算やしりとりなどの認知機能のトレーニングと運動を組み合わせを行い、脳と身体機能を同時に活性化させるコグニサイズと呼ばれる取り組みについて、所見を伺う。

市長 運動と脳トレを組み合わせた活動は認知症予防に効果があると言われ、当市では脳トレの要素を随所に取り入れたオリジナルの「ふくふく福生体操」を制作し、介護予防

リーダーを中心に周知と普及を図っている。健康運動指導士による脳と体のトレーニング教室なども実施しており、今後も有効な方法等を取り入れ、認知症予防に取り組んでいく。

生活困窮者の就労訓練事業について

質問 この事業は、就労に困難を抱える生活困窮者に状況に応じた就労機会を提供し、生活面や健康面で支援を行うものである。こうした事

業により就労につなげていくことは重要だと考えるが、所見を伺う。

市長 心身の不調や長期間の離職などによりすぐに就労することが困難な方に、認定就労訓練事業を案内している。令和元年度の利用者は3人で、相談支援員が月1回、本人と事業所担当者との面談に同席し、状況の把握に努めるなど、本人に寄り添った支援を心がけている。

公明党
原田 剛 議員



▲ふくふく福生体操のイベントの様子

四五都市連絡協議会職員交流研修派遣の成果について

正和会
山崎 貴裕 議員



質問 四五都市連絡協議会の事業の中で実施している職員の交流派遣の目的や実績、成果を伺う。

市長 北海道登別市、滋賀県守山市、福生市の3市間で、より一層連携したまちづくりの推進、職員の幅広い能力と資質の向上を目的に実施している2年間の職員の研修派遣事業で、これまで福生市から両市へ3名ずつ派遣し、両市からも福生市へ

3名ずつ受け入れている。東京都以外の自治体と情報交換が図られるほか、派遣先で様々な経験を積めるなど確実に人材育成につながっている。

A I 時代に向けた確かな学力育成のための今後の取り組みについて

質問 確実に到来するA I時代に向けて、福生市の子どもたちの確かな学力をどのように育むか。

教育長 客観的な根拠を重視し、

エビデンスに基づく効果・効率を読み取れる教育施策の企画立案を進めたいと考えている。例えば、学力調査で得られたデータを基に、一人一人の学力向上の視点を加えて子どもたちの成長を追跡したり、それぞれのつまずきに応じてICTなどを活用したドリル学習を用いたりするなど、よりきめ細かい個に応じた指導の実現を目指していきたい。



▲福生市から登別市への派遣職員の様子

福生駅西口地区市街地再開発事業の経緯と意義について

正和会
石川 義郎 議員



質問 福生駅西口地区市街地再開発事業は、今後の福生市のビジョンを語る上で絶対に外せない、将来の明暗を分ける最重要事業であると受け止めているが、この事業のこれまでの経緯と意義を伺う。

市長 福生駅西口商店街のにぎわいが薄れ、集客力が低下していたことから、地域の意識調査などを実施した結果、まちづくりの活性化によ

り諸課題を克服できると指摘された。そこで、平成28年度に福生駅西口地域まちづくり検討会が設立され、強みや特色、弱みや問題点などを洗い出した結果、課題の克服には面的な市街地の再開発が一番有効であるとされ、平成29年11月に福生駅西口地区市街地再開発準備組合が発足し、現在に至っている。

都市計画マスタープランや住宅マ

スタープランで福生駅前地域の高度利用と居住促進を目指しているほか、福生市総合計画第4期修正後期基本計画や立地適正化計画で駅を中心としたコンパクトなまちづくりや都市機能の集約化を掲げるなど、あらゆる分析や計画の策定において、必要な事業であると位置づけられており、市全域に新たな活力をもたらす意義のあるものといえる。



▲福生駅西口の現在の様子

地域介護予防活動支援事業について

公明党
堀 雄一朗 議員



質問 この事業は、高齢者を分け隔てることなく、誰でも参加できる介護予防活動を目指し、住民主体の通いの場等の活動支援を目的とするが、現状と今後の取り組みを伺う。

市長 現在、市は地域の集いの場に指導員を派遣する運動指導員派遣事業、地域で介護予防の活動を広げる介護予防リーダー養成講座を実施している。今後の取り組みは、高齢

者の日常生活を支援する多様な主体によるサービスの提供体制を充実し、支え合いの地域づくりを推進することを目標の一つとしている。

立川バス福生営業所開設の影響と空港リムジンバス等含む路線について

質問 営業所開設により、歩行者の安全確保や道路規格の見直しも必要となるのではないかと。また、バス路線の変化や羽田空港・成田空港へ

のリムジンバスの発着の見直しは。

市長 新たに立川バスが往来する本町通りは無電柱化を、多摩橋通りでは、東京都が茂茂立体事業等を進めており、これらの事業と合わせて整備を進めていく。また、立川バスに確認したところ、福生市内では1路線追加したが、空港リムジンバスの福生駅発着についてはお答えできる状況にないとのことであった。



▲介護予防リーダー養成講座の様子

令和元年台風第19号における自助、共助について

公明党
五十嵐 みさ 議員



質問 自分や家族の避難行動計画であるマイ・タイムラインや、地域の現状をより小さい単位で情報共有する地区防災計画について伺う。

市長 マイ・タイムラインは、自らの環境や地域の特性に合った行動がとれるよう日ごろから避難を考える防災行動計画である。東京マイ・タイムラインという作成キットを、市役所や福祉センター等、4カ所で

配布している。地域が作成する地区防災計画は、自助・共助の意識の醸成が期待できるため、作成に当たっては、市も積極的に支援していく。

子どもの権利条約を広く市民に周知することについて

質問 子どもの権利条約について、母子手帳に記載したり、パパママクラスのテーマに取り上げるなど、さまざまな場面で周知に取り組むこと

が必要ではないか。

市長 社会全体で子どもの人権を尊重する概念が育つには、妊娠・出産時から子どもの人権にかかわる仕組みづくりが課題である。子育てハンドブックにこの条約について掲載し、周知を行っているが、今後は妊娠届け出の際にお渡しする支援プランに記載することや、保健センター内への掲示も考えている。



▲東京マイ・タイムライン(東京都総務局発行)

フレイルの状態を把握するための健診導入に関する取り組みについて

正和会
小澤 芳輝 議員



質問 フレイルとは、加齢とともに心身の活力が低下した状態を指し、健康な状態と介護が必要な状態の中間に位置づけられ、体重減少や握力低下等、3項目以上に該当するとフレイル状態と診断される。来年度から施行されるフレイルの状態を把握するための健診導入に関してどのように取り組むか。

市長 令和2年度から介護を必要

とする一歩手前であるフレイルの状態か否かをチェックする健診を実施するよう国から示され、健診の項目はこれまでの後期高齢者健康診査と同様だが、問診の内容を、フレイルなどの高齢者の特性を把握できる内容に変更することとなった。新たな質問票は、健康状態を総合的に把握する目的から、体の健康状態、心の健康状態、食習慣、口腔機能、体重

変化、運動・転倒、認知機能、喫煙、社会参加等の10類型について、15項目の質問で構成されており、健康診査での健康状態の総合的判断だけでなく、かかりつけ医等の受診の際や通いの場でも健康状態の評価に用いることができると考えている。市としても、より健康に過ごしていただくために、多くの方に受診していただくよう努めたい。



▲フレイル予防のための「コロナ教室」の様子

ヘルプマークの周知について

質問 障害者が支援を受けやすくする目印となるヘルプマークの目的と周知方法、配布場所を伺う。

市長 ヘルプマークは、外見からわからなくても支援や配慮を必要としている方が、周囲に配慮が必要であることを知らせるためのマークである。都ではポスター、チラシ等で周知を行い、東京都心身障害者福祉センター、都立病院、都営地下鉄の

駅や都営バスの営業所などで配布している。市でも、「ふっさヘルプバンドナ」や「障害者のための災害時避難行動マニュアル」などにこのマークを印刷して周知を図っている。

保険者機能強化推進交付金への取り組みについて

質問 国の令和2年度当初予算案で、介護予防や自立支援に成果を上げた自治体に手厚く配分する交付金

が大幅に拡充されることがわかったが、本市におけるこの交付金への取り組みについて伺う。

市長 国の令和2年度予算案について、現在、国や都から詳しい情報は入っていない。市としては、現在の介護予防事業や認知症施策等の取り組みをより一層充実させ、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの深化・推進に取り組んでいく。

正和会
幡垣 正生 議員



▲必要な支援が一目でわかる「ふっさヘルプバンドナ」

がんになっても自分らしく暮らすことについて

質問 がんになっても自分らしく生き生きと暮らすための支援について、所見を伺う。

市長 効率的な医療・福祉サービスの提供や就労支援等の仕組みの構築が求められており、偏見の払拭や治療を受けた方の心理的・社会的負担軽減の取り組みが必要と考える。

質問 がんになった後に直面するさまざまな課題を乗り越えるための

サバイバーシップ支援の内容を伺う。

福祉保健部参事 がん治療に伴う外見の影響をケアするための、ウィッグや胸部補正用具等に対する費用助成を検討している。

自殺予防対策について

質問 国の自殺総合対策大綱の見直しに伴い、地域における計画的な自殺対策の推進を、本市でも進める必要があると考えるが、所見を伺う。

市長 福生市自殺総合対策計画の計画案が完成した。今後は、自殺対策を支える人材育成の充実を図るとともに、関係機関との連携を強化し、全庁的に自殺対策に取り組む。

質問 自殺対策を支える人材育成の充実について、具体的に伺う。

福祉保健部参事 自殺対策に大切な気づき、声かけ、共感を行うゲートキーパーの増員に取り組んでいく。

生活者ネットワーク
三原 智子 議員



▲誰でもゲートキーパー手帳(厚生労働省HPより)

AI等の導入による業務の効率化について

質問 近年、AI(人工知能)やRPA(ソフトウェアによる事務処理の自動化技術)を導入し、業務の効率化、省力化に効果を上げる自治体が見られるようになった。超高齢社会への突入や生産年齢人口減少によりこれらの技術が注目されているが、本市における活用、導入についての所見を伺う。

市長 国は「ソサエティ5.0時代の

地方」という考えを打ち出し、革新的な技術をさまざまな分野に展開し、新しい社会を実現するために、自治体行政も対応するべきだとしている。AIやロボット工学の活用で処理できる事務作業は全て自動化する「スマート自治体」へ転換の必要性があるとする国の考えや、昨今のAIブームもあり、一部自治体や民間事業者により、さまざまな分野の行政サ

ービスで実証実験や活用が始まっている。本市も令和2年度以降の第7次行政改革大綱を検討する中で、先行事例の情報収集と活用の検討を進めており、AIやRPAの導入は今後の人口構成の変化の中で効果が期待できると考えている。大綱の推進項目の一つとして、行政サービスの提供を持続可能とする取り組みと業務の効率化を進めたい。

公明党
青木 健 議員



▲ソサエティ5.0政府広報

市営住宅の維持・管理について

質問 居住者の高齢化も進んでいると思うが、鉄筋造の住宅について、バリアフリーには対応しているか。耐震性、入居世帯数と入居率、65歳以上の高齢者世帯数についても伺う。

市長 建設時にエレベーターのない10棟に平成23年度から28年度にかけて設置工事と同時に共用部分のバリアフリー対策も実施した。個々の居室のバリアフリー化は入居者の

方々の実情に応じ介護保険制度等、各種給付事業を活用していただいている。鉄筋造住宅は全て耐震基準を満たしている。

都市建設部長 令和元年10月末時点で入居状況は全243室に対し、入居世帯が233室で、入居率95.88%。そのうち65歳以上の方がいるのは140世帯で、割合は60.09%である。

市営住宅の補修・修繕について

質問 修繕が必要になった場合の費用の負担とタイミングは。

市長 居室に係る修繕には市が行うものと入居者の方が費用を負担するものがある。屋上防水や外壁塗装、給排水管改善等の建物全体に係る大規模修繕は、平成22年策定の福生市公営住宅等長寿命化計画により住宅ごとに修繕・改善に係る事業予定を定め、計画的に維持管理している。

正和会
小林 貢 議員



▲市営住宅に表示している東京都耐震マーク

福生駅西口地区公共施設整備基本計画(案)等について

質問 計画案では、図書館の指定管理化があるが、図書館法により収益の手だてがなく、開館日の増加も見込まれ、職員の労働条件悪化の危険性がある。また、他の直営館との連携や期限つき契約によるサービスの安定性等に不安がある。公的責任の面からも直営にすべきではないか。

市長 複合施設としての利点を生かし、施設間で連携してイベントや

プログラムを行うなど、従来にはない事業展開を目指している。個々の施設に専門的なノウハウを持つ企業等の共同事業体を指定管理者とし、融合した一つの施設として横断的、一体的に管理運営を委ねることが効率的であると判断した。

マルチスペース(中、小)を公民館施設として位置づけることについて

質問 現案では大・中・小のマル

チスペースを設ける構想がある。現状、公民館サークルの活動場所が不足しているので、中と小については公民館施設に位置づけてはどうか。

市長 今回の基本計画でマルチスペースについて大まかな用途を示しているが、これは都市計画決定に向けた素案作成に必要な事項であることから、どのような位置づけにするかは今後の検討になる。

日本共産党
池田 公三 議員



▲市民一人当たりの蔵書数が26市で最多の福生市立図書館

国民健康保険制度について

質問 昨年度の国保の都道府県化により、国は法定外繰り入れの解消と標準保険税率の水準を求め、また東京都は独自の激変緩和策を取りやめるとしており、非常に厳しい状況にある。本市として、国民健康保険税をどのように考えているのか。

市長 福生市の国民健康保険は、一般会計より多額の法定外繰り入れを行っている状況が何年も続いてい

る。被保険者の方の急激な負担増とならないよう配慮しながら、繰り入れの削減に努めたい。国や都へは、東京都市長会より東京都へ、全国市長会より国へ財政支援のさらなる拡充を図るよう要望している。

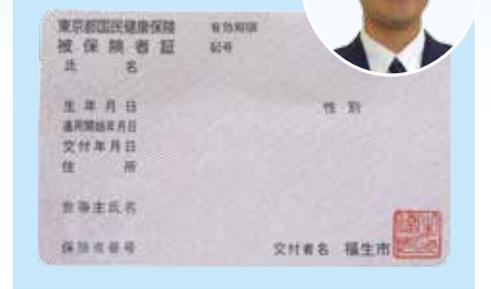
CV-22オスプレイ新施設建設中止について

質問 2018年10月に5機が配備され、さまざまな付帯施設の建設が予

定されていたが、これらの予算を凍結したと今年10月に米空軍のホームページで発表された。この件で、国から何か情報提供はあったのか。

市長 11月29日に国から予定していた工期が変更されたと情報提供があった。格納庫、飛行隊施設、シミュレーター施設等の建設が令和2年2月から4年5月まで予定されていたが、未定となったとのこと。

日本共産党
市毛 雅大 議員



▲国民健康保険証(サンプル)

市民の防災活動等及び地域防災力の育成、支援について

質問 市民、地域住民による町会・自治会活動の活性化、充実化は地域社会の課題の一つだが、現在の町会・自治会の防災への取り組みに対する市の支援状況及び課題を伺う。

市長 現在、町会・自治会に対し運営上の観点から財政的支援を行っている。また、町会・自治会の方が基盤となる自主防災組織には財政的支援や自主防災リーダーを養成する

講習会を行い、防災訓練等では市職員や消防団員が講義や指導を行っているが、町会加入率の低下や高齢化など、参加者が固定化する傾向にある。市民にはいまだに自主防災組織の認知度が低く、その向上が課題である。

今後の自主防災組織の在り方について

質問 今後の自主防災組織の在り方をどう考えるか。所見を伺う。

市長 誰もが参加しやすい組織づくりが課題。既に自主防災組織の一部では水・防災訓練の合同開催や地元の事業所との訓練の実施など、他団体と相互連携により課題解消や大規模災害への対応に取り組むところもある。今後は地域にかかわる団体にも組織の一員として日常的に参画していただくことで、地域の自助・共助の強化が図れるのではないかと。

正和会
佐藤 弘治 議員



▲田園四地区合同水・防災訓練の様子

そよかぜ教室への給食提供について

質問 そよかぜ教室と同じく不登校の子どもたちを受け入れる不登校特例校分教室が、令和2年度からスタートすることであるが、分教室では給食がある。そよかぜ教室の給食提供について、市はどのように考えるか。

教育長 学校給食は、学校給食法に基づき実施されるものであるとともに、教育活動としても実施される

もので、教育の観点を踏まえ、学校給食の教育的効果を引き出し、学校給食を通じて学校における食育を推進している。また、年間を通して児童・生徒が望ましい食習慣を身につけられるよう、教育課程に位置づけて実施しているものである。

分教室には正規教員が配置される予定であり、学校給食についても、教育課程に適正に位置づけて実施し

ていくが、そよかぜ教室には正規教員の配置がない中で、一人一人の児童・生徒の実態に応じて支援している。市としては、全ての児童・生徒が給食の提供を受けることができるよう、学校給食の目的や意義なども考慮し、そよかぜ教室担当の職員にも給食指導を依頼し、そよかぜ教室での給食提供を受けられるよう計画している。

立憲民主党
市川 佳樹 議員



▲子ども応援館2階の学校適応支援室(そよかぜ教室)

賛成 本補正予算は、国が提供する施設等所在市町村助成交付金等の増額、障害者サービス事業費の増額、市制施行50周年や東京2020オリンピック・パラリンピックの気運醸成、学校給食調理等業務委託に係る債務負担行為を含むもので、一つ一つの事業を見た時に、すべて市民のためになっていることが分かるため、本補正予算に賛成する。

賛成 本補正予算は、障害者や障害児のサービス利用等の増加による「介護及び訓練等給付事業」などの増額等のほか、多岐にわたる必要な事業が盛り込まれている。また、学校給食調理等業務委託は、技能長2名の退職予定を受け、今後も安定した学校給食の提供体制を継続するために委託するもので、市民サービスの充実が見込まれることから、本補正予算に賛成する。

そのほか、次の議案等に対しても討論がありました。

- 福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
- 日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民」とする勧告の撤回を求める意見書の採択の陳情書

反対 食育教育の中心を担う学校給食調理業務を市直営から民間委託に変更するという重大な内容が含まれており、次の点から本補正予算に反対する。

9人の正規雇用職員を無くしても、1300万円弱の費用削減にしかならず、調理現場のリーダーとしての正規職員を無くせば、おいしく安心・安全な給食が保証できない。偽装請負になる恐れもある。更なる官製ワーキングプア創出につながる。

討論

●令和元年度福生市一般会計補正予算(第6号) ※計数整理前の補正号数

結論の付いた陳情は次のとおりです。

◆採択

○日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民」とする勧告の撤回を求める意見書の採択の陳情書(第1・6号)

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデジタイズ方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。

ご家族やお知り合いで、ご希望の方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局
☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。(利用者一割負担)

議員提出議案第1号

国連各委員会の「沖縄県民は先住民」勧告の撤回を求める意見書

国連の「自由権規約委員会」が2008年と2014年に、そして「人種差別撤廃委員会」が2010年と2014年と2018年に、日本政府に対し、琉球・沖縄の人々を先住民として認めて、権利や伝統文化、言語を保護する旨の勧告を5回行っている。

しかしながら、沖縄の方言には、古くからの大和言葉が数多く残っており、人々の日本民族としての一体感は強く、また、沖縄県内のそれぞれの地域に残る伝統芸能や文化の継承も自発的に活発に行われている。さらに、沖縄県議会及び沖縄県内41市町村議会において、一度も国連の各委員会に対し「先住民申請の議論」が行われたことはない。生活様式も本土と何ら変わるものではない同一民族であり先住民との認識は不当なものである。

沖縄に生まれた沖縄県民は、日本人として生まれ、主に日本語で会話をし、日本語で勉強し、日本語で仕事をしており、先住民だとは自認するものではない。

よって、福生市議会が政府に対し、次の事項について強く要請する。

- 1 早急に「沖縄の人々は先住民」との国連各委員会の誤った認識を正し、勧告を撤回させること。
- 2 国連が発信した沖縄の人々が先住民との誤った認識が、これ以上国際社会に広まらないように、速やかに正しい沖縄に対する認識を多言語で発信・普及すること。

(提出先) 内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、内閣府特命担当大臣(沖縄及び北方対策)

議案の審議結果 (○:賛成 ×:反対)

※補正予算第6号と第7号は、議決日が異なったことにより号数順に変動が生じたため、計数整理をしています。

ネット:生活者ネットワーク

議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	自民党福生	ネット	立憲民主党	議決結果
市長提出議案								
報告第4号	専決処分の承認を求めることについて(令和元年度福生市一般会計補正予算(第5号))	○	○	○	○	○	○	承認
議案第64号	福生市の一般職の職員の分限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第65号	福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第66号	福生市体育施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第67号	福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第68号	福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第69号	福生市学童クラブ条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第70号	福生市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第71号	福生市営住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第72号	福生市下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第73号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第74号	福生市会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第75号	福生都市計画事業福生田園西土地区画整理事業施行規程を定める条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第76号	福生病院組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	可決
議案第77号	令和元年度福生市一般会計補正予算(第7号) ※計数整理後の補正号数	○	○	×	○	○	○	可決
議案第78号	福生第三小学校防音機能復旧(復機)工事(空調設備)請負契約	○	○	○	○	○	○	同意
議案第79号	損害賠償の額を定めることについて	○	○	○	○	○	○	可決
議案第80号	令和元年度福生市一般会計補正予算(第6号) ※計数整理後の補正号数	○	○	○	○	○	○	可決
議案第81号	福生市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第82号	福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	可決
議案第83号	福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	可決
議案第84号	福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	可決
議案第85号	令和元年度福生市一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案								
議員提出議案第1号	国連各委員会の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書	○	×	○	○	×	○	可決

可決等だった案件(要旨)

●専決処分の承認を求めることについて(令和元年度福生市一般会計補正予算(第5号))
台風第19号に係る公園等の復旧に伴う補正予算を専決処分したもの。
●福生市の一般職の職員の分限に関する条例の一部を改正する条例
地方公務員法の一部改正に伴い、引用する規定を整理するもの。
●福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
地方公務員法の一部改正に伴い、成年被後見人又は被保佐人であることにより失職した職員の給与、期末手当及び勤勉手当の支給に関する規定を整理するもの。
●福生市体育施設条例の一部を改正する条例
福生市営競技場の使用料の額を改定するもの。
●福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準の一部改正に伴い、関係する規定を整備するもの。
●福生市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
●福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
児童福祉法の一部改正に伴い、引用する規定を整理するもの。
●福生市学童クラブ条例の一部を改正する条例
さくらクラブ及び第2さくらクラブを移転及び統合するもの。
●福生市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例
廃棄物の処理及び清掃に関する法律及び廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則の一部改正に伴い、関係する規定を整備するもの。
●福生市営住宅条例の一部を改正する条例
市営住宅への入居機会の充実を図るため、入居手続に係る連帯保証人の規定を削除するもの。
●福生市下水道条例の一部を改正する条例
成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づく措置として指定下水道工事店の指定基準等に関する規定を整備するもの。
●地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例
地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、会計年度任用職員に関する規定を整備するもの。
●福生市会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例
地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、必要な事項を定めるもの。
●福生都市計画事業福生田園西土地区画整理事業施行規程を定める条例を廃止する条例
事業の完了に伴い、所期の目的を達成したため、本条例を廃止するもの。
●福生病院組合規約の変更について
福生病院組合の病院事業に地方公営企業法の全部を適用することに伴い、規約を変更するもの。
●令和元年度福生市一般会計補正予算(第7号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億1484万7千円を追加し、259億2170万3千円とするもの。
●福生第三小学校防音機能復旧(復機)工事(空調設備)請負契約
福生市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の同意を得るもの。
●損害賠償の額を定めることについて
市の職員による事故について、損害賠償の額を定めるもの。
●令和元年度福生市一般会計補正予算(第6号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ253万2千円を追加し、258億68億4629万7千円とするもの。
●令和元年度福生市一般会計補正予算(第8号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億2459万4千円を追加し、260億4629万7千円とするもの。
●福生市一般職の任期付職員の特例に関する条例の一部を改正する条例
都の給与改定に準じて、一般職の職員の勤勉手当の支給割合の改定と、令和元年12月期の期末手当支給割合の特例を定めるもの。
●福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
市長等の期末手当支給割合の改定と、令和元年12月期の期末手当支給割合の特例を定めるもの。
●福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例
議員の期末手当支給割合の改定と、令和元年12月期の期末手当支給割合の特例を定めるもの。
●福生市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
議員の期末手当支給割合の改定と、令和元年12月期の期末手当支給割合の特例を定めるもの。
●令和元年度福生市一般会計補正予算(第5号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億2459万4千円を追加し、260億4629万7千円とするもの。
●令和元年度福生市一般会計補正予算(第6号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ253万2千円を追加し、258億68億4629万7千円とするもの。
●令和元年度福生市一般会計補正予算(第7号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億1484万7千円を追加し、259億2170万3千円とするもの。
●令和元年度福生市一般会計補正予算(第8号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億2459万4千円を追加し、260億4629万7千円とするもの。

※議員提出議案は5面に全文を掲載しています。

行政視察報告

全国の市町村の特色ある施策を今後のまちづくりの参考にするため実施した、常任委員会の先遣地視察を報告します。

建設環境委員会

視察目的 ①多文化共生の推進について②姫bi z戦略事業について③食品ロス削減について

視察先 ①岐阜県美濃加茂市③長野県松本市

視察日 令和元年10月2日(水)～3日(木)

①急増する外国人住民とのさまざまな課題に対し、『美濃加茂市多文化共生推進プラン』を策定している。外国人児童・生徒への教育支援にも注力し、高校進学率の大幅な伸びや、保護者が町会等の地域活動に参加するなどの地域活性化につながっている。

②古来より中山道が『姫街道』と呼ばれていたことにちなみ、女性の活躍推進による賑わいを創出することを目的とした事業で、起業支援『姫biz』とクラウドファンディングプラットフォーム『FAAVO美濃國』による重層的な支援で自己実

現の場を創出している。

③発展途上国と日本の食糧事情の違いと宴席等での大量の食べ残しの矛盾に問題意識を持ったことから『30・10運動』を考案し、外食時と家庭の両面で展開している。また、未就学期からの環境教育にも注力し、成果をあげている。

②豊田市の「子どもの権利相談室」は、平成19年に施行された「子ども条例」に基づいて、平成20年に子どもの権利擁護委員とともに設置された。電話や面談等で、子どもと子どもに関する相談に応じている独立した機関。子どもからの相談に対しては、子どもと一緒に考え、子どもの最善の利益となる解決を目指している。



▲美濃加茂市の多文化共生の推進等について視察

市民厚生委員会

視察目的 ①認知症不安ゼロ作戦について②子どもの権利相談室について

視察先 ①愛知県大府市

視察日 令和元年10月8日(火)～9日(水)

①大府市の「認知症不安ゼロ作戦」は、認知症になりにくいまちづくり、または、なっても安心して暮らせるまちづくりを目的とした複合的な事業で、一定の成果を上げている。例えば、脳トレと

運動を組み合わせたコグニサイズ(英語で認知を表すコグニションと運動を表すエクササイズ)を組み合わせた造語)を行うことで認知機能の改善がみられ、各地域の高齢者のグループ等で実践されている。

②大府市の「子どもの権利相談室」は、平成19年に施行された「子ども条例」に基づいて、平成20年に子どもの権利擁護委員とともに設置された。電話や面談等で、子どもと子どもに関する相談に応じている独立した機関。子どもからの相談に対しては、子どもと一緒に考え、子どもの最善の利益となる解決を目指している。

①大阪府の外国人住民の比率は約5%。図書館利用案内やホームページは「やさしい日本語」及び13言語で対応している。外国語の図書・雑誌を数多く収集し、外国人住民向けに母国語に親しむためのコーナーも設置している。また多言語による絵本の読み聞かせイベントを開催し日本人との交流の場を創出している。

②国の「放課後等福祉連携支援事業」の受託を契機に、連携に必要な課題等を集約し、これを踏まえ学校・事業所・保護者の3者による面談や支援連絡協議会を実施している。3者間で作成・共有する子どもの情報に関するノートにより緊密な連携が可能。教育委員会に福祉部門が統合されている組織形態も特徴。



▲大府市の認知症不安ゼロ作戦について視察

総務文教委員会

視察目的 ①大阪市立中央図書館の多言語対応

「やさしい日本語」による情報提供について

(※簡易な表現・文章構造、ふりがな等により外国人に理解しやすくした日本語)②放課後等デイ

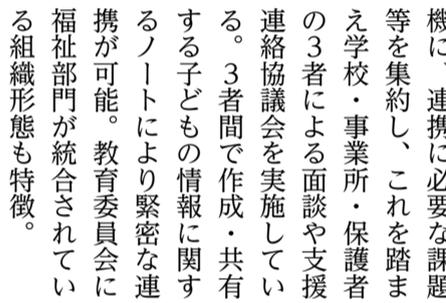
サービス事業所(福祉)と学校(教育)の連携の取り組みについて

視察先 ①大阪府大阪市

視察日 10月24日(木)～25日(金)

①大阪市の外国人住民の比率は約5%。図書館利用案内やホームページは「やさしい日本語」及び13言語で対応している。外国語の図書・雑誌を数多く収集し、外国人住民向けに母国語に親しむためのコーナーも設置している。また多言語による絵本の読み聞かせイベントを開催し日本人との交流の場を創出している。

②国の「放課後等福祉連携支援事業」の受託を契機に、連携に必要な課題等を集約し、これを踏まえ学校・事業所・保護者の3者による面談や支援連絡協議会を実施している。3者間で作成・共有する子どもの情報に関するノートにより緊密な連携が可能。教育委員会に福祉部門が統合されている組織形態も特徴。



▲大阪市立中央図書館の多言語対応等について視察

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました
(補正予算は計数整理前の補正号数です)

建設環境委員会

12月10日に委員会が開

催され、5件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

◆福生市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例の一部を改正する条例

問 技術管理者の資格に「専門職大学の前期課程を含む」が追加されているが内容は。

答 令和元年4月より、専門職大学の養成を目的とする専門職大学制度が新設され、前期課程修了者には専門職の短期大学の学位が与えられることとなり、この資格要件が追加された。

◆福生市営住宅条例の一部を改正する条例

問 市営住宅入居の際の連帯保証人の廃止に伴う課題への対応は。

答 家賃滞納の場合、連帯保証人に対して請求を行うことができなくなるが、今後は自主納付の働きかけを行った上で滞納が続く場合、明け渡し請求を行うことで対応したいと考えている。

◆福生市下水道条例の一部を改正する条例

問 指定下水道工事店の

工事業者及び責任技術者の登録要件が変更になるが、確認はいつ行われるのか。

答 新規については申請時、既存のものについては更新時に要件を満たすかどうかの確認をしている。

◆福生都市計画事業福生田園西土地区画整理事業施行規程を定める条例を廃止する条例

問 平成16年の換地完了後、平成21年度に残っていた事務を行った、このことが内容は。

答 平成21年度に残っていた事務は精算金に関する事務である。

◆令和元年度福生市一般会計補正予算(第6号)

配慮に努めていきたいと考えている。

◆令和元年度福生市一般会計補正予算(第6号)

(市民厚生委員会所管分)

問 健康ふっさ21事業のウォーキングマップ作成委託料と消耗品費の内容は。

答 ウォーキングマップの残数がわずかとなったため、新たに5千部作成する。消耗品費は、ウォーキング事業を行う際に使用する歩数計、血圧計、ワイヤレスガイドシステム(二体型拡声器)等を購入する。

問 障害児通所支援事業の増額の理由は。

答 放課後等デイサービスの利用日数の増加が要因。事業所が増え利用しやすい環境が整ったこと等が考えられる。

市民厚生委員会

12月11日に委員会が開催され、4件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

◆福生市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

問 10月からの幼児教育・保育の無償化に伴う副食費の徴収の方法は。

答 口座による引き落としや園の指定する口座への振り込みなど、それぞれの方法で行われている。

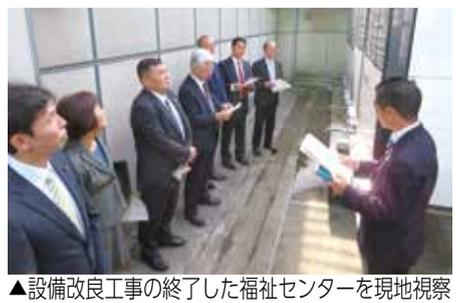
◆福生市学童クラブ条例の一部を改正する条例

問 臨時さくらクラブは定員が160名という大きな学童クラブになるが、どのような育成を行うのか。

答 第三小学校の増築施設の一階部分を使用する。学童クラブの支援体制は40人以下が望ましいとされていることから、一階



▲台風被害があった福生南公園を現地視察



▲設備改良工事が終了した福祉センターを現地視察

総務文教委員会

12月12日に委員会が開催され、8件の議案を審査し、原案のとおり可決及び同意されました。ま

12月12日に委員会が開催され、8件の議案を審査し、原案のとおり可決及び同意されました。ま

た、陳情1件は採択となりました。

◆福生市体育施設条例の一部を改正する条例

問 人工芝化等を進めている福生市宮競技場の工事後の使用料は。

答 現行の市宮競技場使用料は1時間1500円となつていますが、再度、改良後の市宮競技場全体に係る原価計算をした結果、基準使用料は3800円を超える試算となつた。しかし、近隣自治体や地域の実情を勘案し、団体料金について1時間当たり2500円とした。

問 人工芝化後の利用件数の見込みは。

答 近隣自治体の類似施設の利用状況をみると、人工芝化以後の稼働率、利用件数はともに良好であり、利用件数の減にはつながらないと考える。

◆福生市会計年度任用職員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例

問 会計年度任用職員制度の概要は。

答 国の法改正により非常勤特別職員の要件が厳格化され、嘱託職員やパート職員また非常勤特別職に該当しない職はすべて会計年度任用職員に移行する。

問 人件費への影響は。

答 全体で250名程度になる予定で、初年度は約5千万円、2年目以降は7千万円の増額を見込んでいます。

◆令和元年度福生市一般会計補正予算(第6号)(総務文教委員会所管)

問 学校給食調理業務等を民間に委託する理由は。

答 運営上、慢性的な人手不足等の課題があり、長期的に見て円滑な業務運営が困難となることから想定されるため。

問 東京2020オリンピック・パラリンピック推進事業の都市を装飾するシティードレッシングの内容は。

答 市役所第二棟の東側壁面に東京2020オリンピック・パラリンピックのデュアルエンブレムのシートを張り付ける。また、横断幕を20枚作成し、市役所の東側と北側の鉄柵及びもくせい会館に通じる歩道橋に設置する。

問 市制施行50周年記念事業のメッセーリアプリ用スタンプの作成委託の身は。

答 有料配信するLINEスタンプの作成を委託するもの。市民が120円で購入すると42円の分配金が市に支払われる。

問 防犯活動事務の防犯カメラ設置の内容は。

答 牛浜第一町会に牛一会館前の交差点など計4台を、福東町会に平和橋北側付近など計2台を設置する予定。

問 歳入の5千万円の減額補正を臨時財政対策債の借り入れでなく財政調

整基金繰入金を優先させた理由は。

答 個別施設計画策定後の大規模改修事業や近年の災害発生状況を踏まえ、今後の財政需要に備え財政調整基金の残高を確保する必要があるため。

◆福生第三小学校防音機能復旧(復機)工事(空調設備)請負契約

問 夏休み中の児童クラブとふっさっ子の広場の運営は。

答 児童クラブは、現在増築工事を行っている校舎1階で運用し、ふっさっ子の広場については、増築する校舎2階の普通教室1室を一時的に使用し運用する。



▲防音機能復旧(復機)工事(空調設備)を実施する福生第三小学校

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が閉会中も含め6回開催されました。

特別委員会活動から...

横田基地対策特別委員会

12月13日に委員会が開催され、1件の議題について協議しました。主な内容は次のとおりです。

1 横田基地に関する情報等について

①防衛省北関東防衛局から、10月以降CV-22オスプレイの離着陸状況の目視確認と離着陸回数等の情報提供を終了するとの通告があり、9月30日に、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会から北関東防衛局長に対して、10月1日以降も目視による情報提供を継続するよう要請した。

②10月6日に横田基地所属軍人が、福生市内で自動車二輪車の酒気帯び運転により、駐車してあった車両に衝突する物損事故を起こした。

③10月11日に福東トモダチ公園で横田基地の有志による公園清掃等のボランティア活動が行われ、4名の参加があった。

④8月5日から横田基地に一時展開していた米空軍グロバーホーク4機が、10月20日までに全機グアムに帰投した。

⑤10月28日から11月8日の間、サムライ即応監査という、有事における即応態勢の維持強化のための訓練が行われた。11月6日早朝にPASというサイレンが基地内で放送される予定であったが、実際には放送されなかった。期間中、航空機騒音についての苦情が10件あった。

⑥11月11日にやなぎ通りで、14日に国道16号で行われた秋の花いっぱい運動に、横田基地の有志20名が参加した。

⑦横田基地内で予定されていたCV-22オスプレイの部隊が専用のに使用する施設の工事と施設整備に伴う工事車両用ゲートの設置について、工期が延期または未定となつたとの情報提供が、11月29日に北関東防衛局からあった。

⑧11月29日に横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会から横田基地及び北関東防衛局に対して、正月三が日の飛行停止の要請を行った。



▲横田基地有志による秋の花いっぱい運動

議会改革に関する協議会から ~新たな取り組み~

新たな情報発信の手段として、スマートフォン等対応アプリ「マチイロ」により、『ふっさ市議会だより』の配信をスタートしました。



福生市議会HP(行政情報アプリ「マチイロ」の案内ページ)へリンクします

今後も、より良い福生市議会を目指し、全議員で議会改革に関するさまざまな事項について協議していきます。

編集後記

令和2年になり、最初の福生市議会だよりを発行させていただきました。福生市議会の様子を少しでも分かりやすくお伝えすることに努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。さて、本年は市制施行50周年という記念すべき年であり、福生七夕まつりは第70回を迎えます。そして、全世界が注目している、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催も半年後となりました。

また、政治の関係では、福生市にお住まいの皆様にとって大切な選挙が2つあります。4月26日投票の福生市長選挙と、7月5日投票の東京都知事選挙です。いずれも皆様の暮らしに関わる大切な選挙でございます。棄権することなく、多くの皆様の投票によって市長、知事を選んでいただければと存じます。

福生市議会ホームページでは市議会本会議の様子を動画にて配信しておりますが、本年よりスマートフォンでもご覧いただけるようになりました。各議員の一般質問、上程された議案の審査報告、採決の様子などを配信しておりますので、是非ともご覧ください。

次回定例会のお知らせ ◎傍聴におでかけください。

令和2年第1回定例会(予定)

- ◆本会議 午前10時開会 3月3日(火)~3月6日(金)・27日(金)
◆予算審査特別委員会 午前10時開会 3月10日(火)~13日(金)
◆常任委員会 午前10時開会 3月16日(月)~18日(水)

◎議場には、補聴器をお使いの方のために、補聴器に直接音声を送るヒアリンググループを導入しています。

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークによる本会議の生中継を放映します。放映日時、放映チャンネルは、広報ふっさ及び多摩ケーブルチャンネルガイドでお知らせしますのでぜひご覧ください。